

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	（第 回）
目標年度	令和16年度
市町村名 （市町村コード）	小林市 （45205）
地域名 （地域内農業集落名）	大久津地区 （栗巣野集落、大久津集落）

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	37.1(2.1) ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	31.8 ha
② 田の面積	8.4(1.1) ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	28.7(1.0) ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	15.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	8.0 ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	27.5(1.5) ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	16.0 ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・当地区では現在、主に水稻、肉用牛、露地野菜等の生産が行われている。平成29年から農地中間管理事業の利用が進み、地域内農地の約80%について、機構契約を実施している。

・農地の大部分は基盤整備事業未実施であり、不整形な農地も存在する。また現在、農地の80%以上を60代以上の耕作者が耕作している。内、約60%は後継者無しまたは不明の状況であり、将来的に遊休農地の増加が懸念される。

・一方で、少数ながら規模拡大を志向する担い手も存在する。また耕作者の75%は、現在の耕作面積を維持したいと考えている。地域の農地・農業を今後も維持していくためには、地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・今後も、水稻、肉用牛、露地野菜を中心として、地域営農の維持・振興を図る。

・遊休農地の発生を防ぐため、後継者不在農地については地域内の担い手への農地集積を進めるとともに、兼業農家等についても農業を担う者として、幅広く確保を図る。

・農地中間管理事業を活用して農地の貸借における再分配に取り組み、農地の集積・集約を進めるなど、地域と担い手が一体となって農地利用の改善に取り組む体制の構築を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
農地中間管理事業を活用して、地域の担い手への農地集積・集約を進めることを基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で兼業農家等の農業を担う者による農地の利活用を図る。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	31.2	%	将来の目標とする集積率	80	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
団地化を希望する耕作者の農地について、集団化(集約化)を検討する。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組				
規模拡大意向のある認定農業者等の担い手への農地集積を進める。あわせて、農作業効率化のため、農地中間管理機構等を活用した農地集約(団地化)に取り組む。				
(2)農地中間管理機構の活用方法				
農地中間管理機構の利用を推進し、担い手の経営意向を考慮しつつ、段階的に集約化を進める。				
(3)基盤整備事業への取組				
担い手の意向を踏まえ、畦畔除去等による利便性の向上等の簡易な整備も含めて、必要性に応じた農村整備事業の活用を検討する。地域計画策定エリア内の一部については現在区画整理事業を行い、耕作条件の改善に取り組んでいる。				
(4)多様な経営体の確保・育成の取組				
地域内の認定農業者や法人への農地集積・集約に配慮しつつ、兼業農家等も幅広く農業を担う者として確保する。				
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組				
地域内で農作業の効率化を図るため、農作業受託サービスの利用を活用するとともに、作業毎に委託先をまとめる等し、受託側も受けやすくなるような体制を検討する。				
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)				
☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙1のとおり								

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

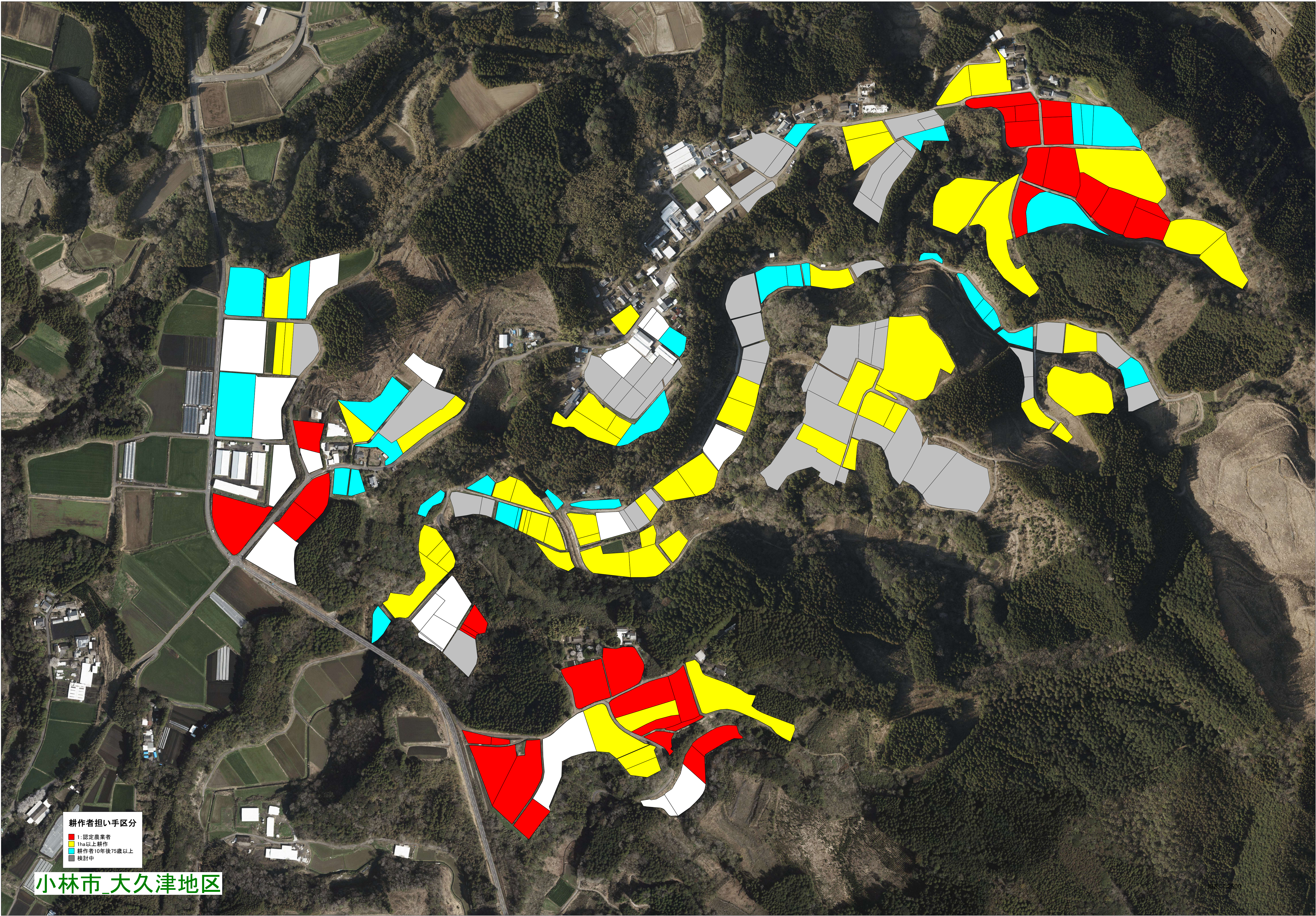
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	利用者	ごぼう・里芋・人参・かぼちゃ	0.44 ha		ごぼう・里芋・人参・かぼちゃ	0.44 ha			
認農		きゅうり・きんかん	0.52 ha		きゅうり・きんかん	0.13 ha			
認農		肉用牛(繁殖)原料甘藷	0.34 ha		肉用牛(繁殖)原料甘藷	0.50 ha			
認農		...	3.73 ha		...	0.23 ha			
認農		肉用牛(繁殖)...	0.26 ha		肉用牛(繁殖)...	0.26 ha			
認農		肉用牛(繁殖)	0.57 ha		肉用牛(繁殖)	0.57 ha			
認農		ごぼう・里芋・ホウレン草	0.59 ha		ごぼう・里芋・ホウレン草	0.59 ha			
認農		肉用牛(肥育)	1.30 ha		肉用牛(肥育)	1.30 ha			
認農		肉用牛(肥育)	0.54 ha		肉用牛(肥育)	0.54 ha			
認農		肉用牛繁殖	2.50 ha		肉用牛繁殖	4.94 ha			
認農		ごぼう・肉用牛繁殖・いちご	0.58 ha		ごぼう・肉用牛繁殖・いちご	0.58 ha			
認農		ごぼう・里芋・人参・かぼちゃ・甘藷	1.02 ha		ごぼう・里芋・人参・かぼちゃ・甘藷	1.42 ha			
利用者			4.83 ha			0.25 ha			
利用者			0.58 ha			0.52 ha			
利用者			0.87 ha			0.48 ha			
利用者			ha			0.14 ha			
利用者			0.39 ha			0.39 ha			
利用者			0.10 ha			0.10 ha			
利用者			4.04 ha			4.04 ha			
利用者			0.86 ha			0.17 ha			
利用者			0.07 ha			0.04 ha			
利用者			0.36 ha			0.13 ha			
利用者			ha			0.20 ha			
利用者			0.35 ha			0.12 ha			
利用者			1.55 ha			0.19 ha			
利用者			0.44 ha			0.44 ha			
利用者			ha			0.25 ha			
利用者			2.99 ha			2.99 ha			
利用者			0.45 ha			0.45 ha			
利用者			0.10 ha			0.10 ha			
利用者			1.48 ha			1.48 ha			
計	31経営体		31.87 ha			23.97 ha			



耕作者担い手区分

- 1: 認定農業者
- 1ha以上耕作
- 耕作者10年後75歳以上
- 検討中

小林市_大久津地区